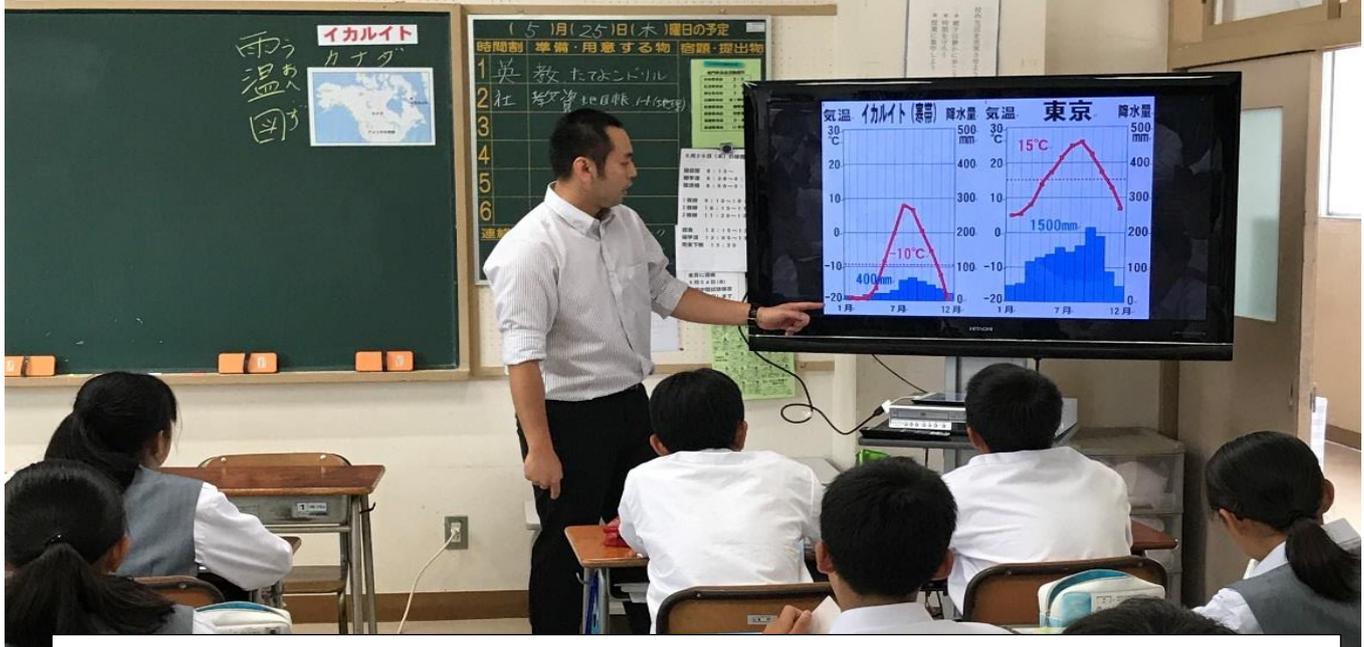
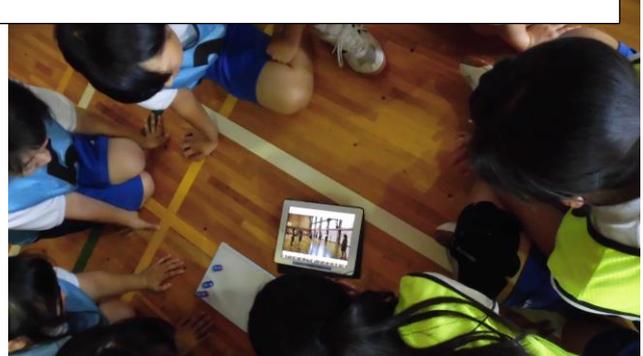




ICT活用でわかる授業



ICT 機器を使った各学校の授業の様子（上：第三中 左下：秋津小 右下：第二中）



現代の情報社会において ICT（情報通信技術: Information and Communication Technology）は今やなくてはならないツールになっています。本市では学力向上を目標として、「わかる授業」のために各教科の授業で ICT 機器を積極的な利活用を推進しています。

今回はその取り組みなどについてお知らせします。

目次

- ・ICT の活用について・・・2
- ・各校の活用例・・・3
- ・教育相談の充実について・・・4
- ・小学校外国語活動他・・・5
- ・今月のトピックス・・・6



ICT の活用について

国の施策「教育の情報化ビジョン」では、「21世紀を生きる子ども達に求められる力を育む教育を行うには、『教育の情報化』の推進が重要である」と示されており、本市でも各学校で様々な活用がされています。

教育の情報化施策

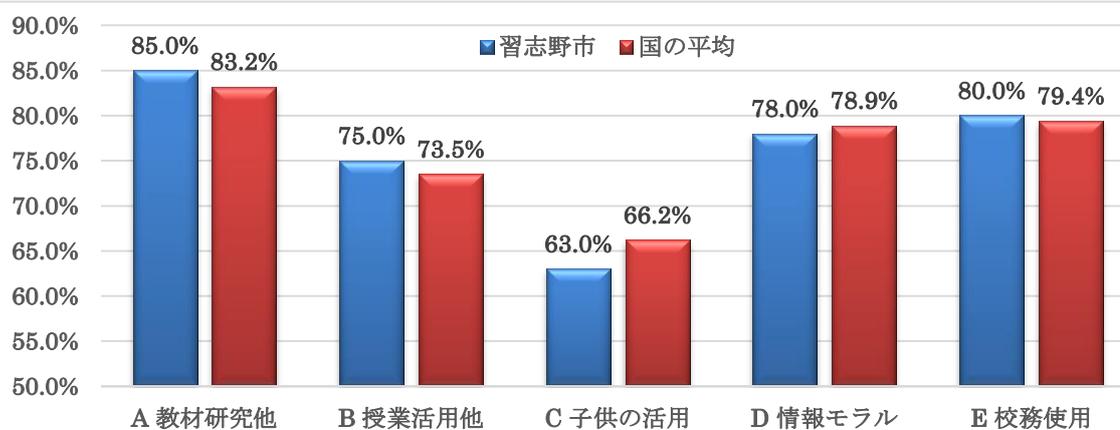
ICT を活用する教員に
必要な能力 5 項目

- A 教材研究・指導の準備・評価などに ICT を活用する能力
- B 授業中に ICT を活用して指導する能力
- C 児童・生徒の ICT 活用を指導する能力
- D 情報モラルなどを指導する能力
- E 校務に ICT を活用する能力

平成 28 年度 情報教育の実態等に関する調査結果（国との比較値）

平成 29 年 3 月実施

1 教員の実態（4 段階評価中、「できる」「わりにはできる」と回答した割合を集計）



上記 A、B の教員の ICT 活用、授業での指導については高く、C、D の児童・生徒への指導については低いことがわかります。

<本市の特徴>

高い能力

A「教材研究・指導の準備・評価などに活用する能力」：授業で使う教材や資料を作成するために ICT を利用する能力

B「授業中に ICT を活用して指導する能力」：児童・生徒に課題を明確につかませるために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する能力

高めたい能力

C「児童生徒の ICT 活用を指導する能力」：児童・生徒が自分の考えを文章でまとめたり、調べたことを図や表などにまとめ、発表したりするように指導する能力

D「情報モラル等を指導する能力」：情報セキュリティや基本的ルールを身につけ、コンピュータを正しく使用するよう指導する能力

2 ICT を利用した授業実績

	小学校		中学校	
	H27	H28	H27	H28
平均稼働率	14%	17%	39%	42%
平均時数	39 時間	49 時間	60 時間	64 時間
ICT 授業合計時間	12,756 時間	15,832 時間	9,286 時間	9,650 時間
利用の多い教科	算数 1,821 時間 社会 1,795 時間	算数 3,074 時間 国語 2,408 時間	社会 2,346 時間 英語 1,317 時間	英語 1,777 時間 社会 1,607 時間

ICT 機器の活用目的は子ども達の「わかる授業」を達成するためにあり、少しでも子ども達が目を輝かせる授業ができるように先生方は工夫を重ねています。今年 9 月からは各中学校にタブレット端末が導入されます。子ども達が主体的に生き生きと授業に参加できるようさらに工夫改善の支援をしていきます。

「わかる授業」をめざした各校の ICT 活用例

ICT 機器は場面に応じた活用を



学習事項の「共有」する場面

第六中 教務主任 菅谷 茂良

ICT 機器の利活用は視覚にとらえやすいため、本校でも課題の提示、生徒のノートの投影による学習事項の共有など、必要に応じて使用することが効果的と考えています。ICT 機器の積極的な活用は、本校の学力向上につながると考えます。

津田沼小 教頭 柳澤 しのぶ

時差なく滑らかに操作表示

できるため、図工のポスター制作の授業で、タブレットを使って過去の受賞作品を手本として提示しました。子ども達は、色の濃さ・コントラスト・構図等、明確なイメージをもつことができ、スムーズにポスター制作に取り組むことができました。

提示する



タブレットを使った図工の授業

わかる 工夫

拡大する

香澄小 教頭 首藤 啓介

本校では、学力向上に向けて、教師も児童も「やる気の授業」を合言葉にしています。発問・板書・ノート指導の他に、話し合い活動を充実させるための工夫をしています。さらに ICT 機器を活用しての学習活動に「みエルモン」「ぼうけんくん」などの拡大投影機はすぐに使用できるようにして積極的に取り組んでいます。



授業参観の様子

練習する

第七中 情報教育主任 古屋 越雄

ICT は瞬間的に視覚に訴える使用に適していることを活かし、授業では前時の復習や知識の定着を図るためパターンプラクティスや必要となる資料の提示として使用しています。設置の位置や角度によって生徒の集中力や積極性に影響が見られるため、活用する場面には注意をしながら使用しています。



社会科の授業の様子



教育相談の充実について

今日の子どもの状況をふまえ、「児童生徒の教育相談の充実について～学校の教育力を高める組織的な教育相談体制づくり～（報告）」（平成29年1月文部科学省）が出され、すべての児童生徒に安心かつ安全な学校生活・学習環境の提供ができるように、今後の教育相談体制の在り方が示されています。

本市でも各学校で様々な取り組みがなされていますが、今回は全中学校、及び、各中学校学区の小学校7校に配属されているスクールカウンセラーについて御紹介します。

「学校内の関係者が**チーム**として取り組む体制づくり」



相談室の様子

袖ヶ浦西小
教頭 神谷 知子

SC来校日を「ふれあい談日」として設定し、学校だよりやホームページなどで保護者にお知らせしています。SCが配置されて2年目に入り保護者からの相談も多くなりました。保護者の相談は、担任や教頭を窓口として予約をします。担任との面談後、内容によってはSCを紹介し、相談につなげるケースもあります。相談のない時間は、各学級を訪問し、児童を観察し、担任にアドバイスをしてくれます。今後もSCと情報を共有しながら児童が安心して楽しく学校生活を送れるようにしていきたいと思えます。



相談室の様子

実籾小
教頭 横平 佳子

今年度よりSCが配置されました。児童や保護者・地域の方々にはお知らせを配布したり、学校だよりに来校日を記載したりしてSCの存在を周知しています。個別面談のほか、面談のない時間は、各教室を巡回して子どもの様子を観察したり、若年層教員に対して心理的側面からの助言をいただいたりしています。7月開催の1000か所ミニ集会では、「児童の成長と対応（セルフコントロール力を育てる）」という演題で講演をしていただく予定です。

いじめ・不登校の「未然防止・早期発見」を支援・対応する体制構築」



相談室前面の掲示物

第四中 教育相談・相談室担当 教諭 長井 秀子

校内適応指導教室（相談室と呼んでいます）に入るときには、保護者・生徒・管理職・学級担任・相談室担当の五者面談を行い、ルール等を説明し、全校体制で生徒を支援しています。また、日課表に基づいて担当した教師が個別指導を行っています。相談室の生徒が目標をもって過ごせるように、校内の先生方に協力を呼びかけ、全員で対応しています。

総合教育センターの取り組み

不登校や学校生活、いじめに関する事、発達や子育てに関する事等、広く教育相談活動を行っています。困り感を抱えたお子さんや保護者の支援機関の一つとしてご紹介いただくと大変ありがたいです。また、教職員の研修にも力を入れています。充実した内容で研修を企画していますので、積極的に御参加ください。 教育相談研修：7月31日(月)、8月24日(木)、8月25日(金)



プレイルームの様子

小学校外国語活動の動き・今年度の市 ALT の紹介

次期学習指導要領では、小学校で外国語活動の教科化が導入されます。平成 32 年度から学習指導要領が完全実施になりますが、それに伴い小学校の外国語活動も 5 年生から「教科」に変わります。

完全実施はいつから？

対象となる学年

何がどう変わるのか

現在の学年	完全実施 (平成 32 年度)
現小学校 1 年生	4 年から外国語活動が開始
現小学校 2 年生	5 年から教科化が開始
現小学校 3 年生	6 年から教科化が開始

現在 2, 3 年が 5, 6 年に進学する年から始まります。

平成 32 年度からは現在の「外国語活動」は 3, 4 年生に移行となり、新たに 5, 6 年生では「教科としての英語」が始まります。これにより 5, 6 年の目標も「英語によるコミュニケーション能力の基礎を養うこと」に変わり、評価も新しくなります。検定教科書により授業が進められ、英語の文字を読んだり書いたりすることも始まる予定です。

本市の主な取組 (平成 29 年度)

小学校外国語活動研究指定校の研究

向山小 研究主任 平山 靖

本校では平成 27 年度より外国語活動の研究を始めております。小学校 1 年生から外国語活動の授業を実施し、子ども達が自信をもって英語でコミュニケーションが図れるようになるための手立てを研究してまいりました。3 年間の研究成果を 11 月 2 日(木)発表いたします。

また、平成 32 年度から新学習指導要領実施に向けた週日課も併せて提案いたします。



外国語活動の授業の様子

外国語活動小・中連携会議

英語教育の改革に伴い、小中学校各段階の指導内容や指導方法について相互に理解を深め、連携を図って各学校での指導に



学区の先生方の情報交換

役立てています。小学校の先生からは「中学校の先生方と連携を図り、教える内容を共通理解すると子ども達の学びが積み重なる」「中学校区の情報交換で中 1 の現状を教えていただき、小学校で指導しておく点も明確になりました」などの感想が寄せられました。

タスカルーサ市からの ALT の紹介



スミス コルビー
ノエル

生徒と趣味や感想の交流をすることが楽しいです。

生徒の成功と成長を見るのが楽しいです。



デューター
シアラ リン

ゲームなどをして生徒の笑顔を見るのが好きです。

生徒や先生方との交流を 3 人ともとても楽しみにしています。外国語活動担当・英語科の先生以外もどんどんコミュニケーションを取ってみてください。



ブラックウッド
マイケル リー



今月のトピックス (健歯児童・特連交歓会・習志野高校)

健歯児童生徒・むし歯予防図画ポスター・学校歯科保健優良校表彰式

6月1日(木)消防庁舎5階講堂

健歯の部：小学校6年生・中学校3年生の健歯（むし歯がなく、歯肉や歯列の状態がよい）の各校代表児童生徒45名から、各部門（小中男女別）の1位～3位を選出しました。どの子どもみんなよい歯の持ち主で、歯科医の先生方も選出に苦労されていました。

むし歯予防図画ポスターの部：小中学校から158点の応募がありました。その中から各部門（小学校図画の部、小学校ポスターの部、中学校ポスターの部）10点ずつの入賞を選び、さらに1～3位を選出しました。どの作品も力作ぞろいでした。入賞者の作品は、大久保公民館に6月6日(火)～18日(日)まで展示して、多くの市民の皆さんに見ていただきました。

歯科優良校：学校をあげて歯科保健に取り組んだ学校を表彰します。今年度は、袖ヶ浦東小学校、谷津小学校、第五中学校が選ばれました。



健歯の部表彰式の様子

出席いただいた歯科医の先生からは、「むし歯になったら歯医者に行くのではなく、病気になるように予防的に歯科医に行くようにしましょう。また、食べた磨くという習慣を今うちからつけておきましょう」というお話がありました。



特連新入生歓迎スポーツ交歓会 5月30日(火)

今年度の新入生29名(小学校12名、中学校17名)を迎え、袖ヶ浦体育館において、歓迎の交歓会が行われました。開会式では硬かった表情の新入生でしたが、競技では各種目に元気よく参加して伸び伸びと体を動かしていました。交歓会後半には新入生の交流が見られるなど有意義な交歓会となりました。



小学校の競技の様子

関東大会(6月)出場しました(習高)

祝

ボクシング部
6/3～5
群馬県前橋市
日吉体育館

ピン級：片岡亜沙人(3年)、 ライトフライ級：佐藤龍之介(3年)
フライ級：茂木優耀(1年)・本田竜也(3年)、 バンタム級：堤駿斗(3年)
ライト級：篠原瑞生(3年)、 ライトウェルター級：宮田彪我(2年)
ウェルター級：吉葉潮音(3年)・石山俊介(2年)
ミドル級：大友優磨(2年)、 ライトヘビー級：伊藤辰樹(2年)

バレーボール部 6/3～4
男子：茨城県ひたちなか市
運動公園総合体育館
女子：埼玉県所沢市市民体育館

体操部団体 6/3～4
茨城県ひたちなか市
笠松運動公園体育館
女子個人：星野楓乃(1年)
田澤愛美(3年)

柔道部(男子団体)
6/3～4
栃木県宇都宮市
フレックスアリーナ
宇都宮

空手道部 6/10～11
東京都足立区東京武道館
女子団体組手
女子個人組手：川端さくら(3年)

バスケットボール部
6/3～4
東京都渋谷区
東京体育館

剣道部(男子団体)
6/10～11
茨城県ひたちなか市
総合運動公園総合体育館